

第 193 号

発行日：2015年10月1日

発行人：神 立 秀 明

〒950-2172 新潟市西区内野上新町11810番地3

TEL 代表(025)264-5000

FAX(025)261-4430

在宅ケアセンターゆうばえ内



夕映えの会

住民の声

戦後70年シリーズ

戦争のこと・私のこと



本 間 テ イ

大正14年、9人兄弟の4人目として、白根在の鷲ノ木で生まれました。初めての女の子でしたので、45日母の手の中で育てられ、私は母の愛情を一身に受けて育ちました。でも物心がつく頃は既に戦争一色。私の娘時代はあの戦争のことを抜きに語れません。

3人の兄たちは世の男たち同様、徴兵検査を受けました。しかし長兄だけは心臓が悪く入隊後すぐに家に戻されました。家に入った兄に「何で戻ってきた!逃げてきたのか!」と父が容赦なく詰問しました。拳を握り、顔を真っ赤にして怒る父、目を伏せて肩を震わせる兄の姿。「お国のために奉公できない奴は非国民」
「そういう倅を出した家も世間の恥」

父の言い分はそういうことだったのでしょうか。そんな時代でした。

鷲ノ木から出征する兵隊たちは、大抵は電鉄・越後大野駅で見送られ入隊していききました。毎日のように日の丸の小旗が振られる中、村の多くの若者たちが戦地へ旅立ちました。



村の同級生二人のことが忘れられません。Yは結婚した後に召集令状を受け取りました。奥さんも同席する出征のお見送りの時、「バンザイ」が繰り返される中で、Yは文字通りの「半狂乱」になつてその中心にいました。「行きたくない」とは言えないう秀才肌のYが取った不可解な行動だったと後年、私は知りました。Tは出征前夜私を呼び出して「テイちゃん、ぶどうもぎに行こうよ」と誘ってくれたのです。何を話したのか、或いは何も話さなかったのか。甘酸っぱい思い出です。そしてそれつきり二人は二度と鷲ノ木には戻って来ませんでした。

戦時はとにかくひもじさだけ。食料が不足しジャガイモやサツマイモが主で米粒を探して食べる雑炊。さ

らにサツマイモのつるを刻んだ雑炊などなど。

昭和18年、親のすすめで営所通りの家に、泣く泣く私は嫁ぎました。19歳になる時でした。実は私には意中の人がいました。彼への思いを振り払って見ず知らずの男と結婚!恋愛結婚などはご法度の時代でした。それでも食糧不足の中、仕事帰りの度に実家に回つての食糧の調達が新妻の私の日課でした。もう十二分に時効! (笑い)

昭和20年8月15日、戦争が終わった安堵感はどう説明したらよいかわかりませんが、戦争は絶対いけません。子どもは終戦の年の12月に授かりました。でも慢性的な飢餓感は、戦後の混乱期も持ち続けました。

「可愛いよ」などとは一度も言うてくれたことがない主人。逆に「浮気は男の甲斐性」と公言する主人に何度泣かされたか。若いときは結核、晩年は脳梗塞・透析とまるで病気の百貨店のよう。本当に手の掛かる主人との暮らしでしたが、一局の人生、飲み込んで今があります。子どもも主人も先に逝ってしまつて90歳の一人暮らし。老人憩いの家とコミセンの図書室通いの毎日です。

(新中浜在住)

夕映えの会 秋の目帰り研修旅行のご案内

「要支援1・2の人達は介護保険制度から市町村の運営する新総合事業に移行」「特養ホーム入所は要介護3以上に限る」
大きく様変わりする介護保険制度にあつて、地域で暮らし続ける支え合いの町づくりを学ぶ研修旅行をご案内します。ふるつてご参加ください。

◆とき 10月24日(土)

9時出発(ゆうばえ)

◆研修施設

NPO法人・

地域たすけあいネットワーク

(三条市本町

☎0256-34-2448)

かじまちの家

コミュニティーカフェ

「ふらっと」

◆昼食交流会

三条市八木ヶ鼻温泉

「いい湯らてい」

◆参加費 3000円

◆お申込み

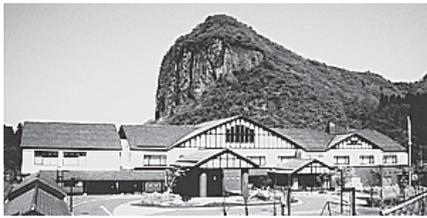
夕映えの会事務局

久住芳保

☎090-3083-0967

または最寄りの夕映え役員

までお願いします。



コミュニティーカフェ・「ふらっと」



かじまちの家

「健やガシニク」してきます！ 第23回 齢を重ねること捨てたもんじゃない ギターと唄でマイワールドづくり 大瀧 遵 一 (上原団地)



土方40年、正
確には建設業、
60歳で退職し何
を思ったか介護
の職に就きまし
た。(二〇一〇年九月号・第

一三二号、「施設からの発信コー
ナー」で紹介していただき、2
回目の登場です。

その中で「ありがとうございます
ます」を言っていますね。今で
もそうですが、仕事を終えると
「ありがとうございます」そう
言ってから職場を去ります。「一
日お疲れ様、ありがとう」の気
持ちですかね。「すべてにありが
とう…また明日がんばります」
というメッセージを込めている
つもりです。

毎日のそれは大変な日々、コ
ミック「くさか里樹」のヘルプ
マンの世界ですかね。でも俺に
は俺のヘルプマンがあるんじゃ
ないかと思えます。そこで私は、
私のワールドを作ることにして
います。

齢を重ねるってそう捨てたも
んじゃない。そう思いますがい
かがですか？

この人生、一度も若い時に戻
りたいと思ったことがないのは

自分ひとりでしょうか？私は「今
が一番」と思っています。見え
てくるのが若い時と違います。
今が一番いいんじゃないです
か、そう思いながら自分を大切
にしたいと思えます。

「ゆうばえ」にお世話になつて
からのことです。「利用者さんに
何かしてあげられないか」「ギ
ター」と「唄」。思いついて練習
をしましたね、晩酌がてら…。
娘に「うるせー」とのバツシ
ングもなんのその。そのうち
「俺、うまいかも!!」と思うくら
い練習していました。月に2、
3回のペースで皆さんと唄つて
いますが、何より自分が楽しん
でいます。

皆さんとお付き合いでできるの
は、まず自分が楽しくないとい
けないなと思えます。私はじじ
いですが、人の真似のできない
じじいになって、皆さんと楽し
くおつきあい出来たらいいなと
思っています。いかがでしょう
か？

想うこと

素敵な女性が好き
型破りじゃなく
型通りがイヤです。

拝

施設から発信コーナー

シヨートステイでは、毎月行事レクを行っています。8月は花火レクを行いました。

事前に伝えてあった事もあり、夕食後少しソワソワしながら笑顔で皆様待っておられました。手持ち花火に職員が火をつけ手渡すと初めは見つめているだけでしたが、徐々に花火を上下する方・回す方と色々な角度から楽しまれ「綺麗だね」「何十年ぶりだろう」と子どもを懐かしみ童心に返り様々な思い出話

を皆様してくださいました。最後の打ち上げ花火では歓声と拍手に包まれ「ありがとう」「楽しかったよ」と大好評でした。

9月はスイートポテト作り挑戦しました。お芋を潰す・材料を混ぜる・形を作る等の作業を皆様率先して参加してください味わい深いスイートポテトが完成しました。

これからも皆様が喜び・笑顔になれ・季節感を感じられるひと時を過ごせる様な行事をしていきたいと思えます。
シヨートステイゆうばえの里



投稿短歌

戦は済んでしずけさもどる街
のどかに浮かぶわた雲のむれ

国民の声の届かぬ、このくにの
将来を思えば眠られぬ夜

民意などどこ吹く風とゴーマンな
政府与党に怒りおぼえる

本間スミ子様より

陽を吸った
ふかふか布団に
包まれて
カエルの声に
長い夜は明け

秋の夕
サンマの香りが
運ばれて
我がゆうげに
一品増えて

葉に隠れ
ふっくら太った
ナスの実が
小さな喜び
あなたにもと

朝風に
頬をなでられ
咲く花は
夏の顔は
永久に我がものと

南 繁栄様より

芦岡さんの

ご飯ですよー!

ゆうばえの里 管理栄養士
芦岡実可子

「豚肉とれんこんの炒め煮」

れんこんの食感がたまらないご飯のすすむ一品です。

〔材料〕(4人分)

- ・豚肉(しゃぶしゃぶ用) 200g
- ・れんこん 450g
- ・サラダ油 大さじ1
- ・しょうゆ 大さじ2
- ・みりん 大さじ1
- ・砂糖 大さじ1

〈作り方〉

- ① れんこんは皮をむき、2cm幅のいちょう切りにして水にさらし、水けをきる。豚肉は2等分に切る。
- ② フライパンにサラダ油大さじ1/2を熱し、豚肉を菜箸でほぐしながら炒め、取り出す。
- ③ 残りのサラダ油を足し、れんこんを炒める。透き通ってきたら豚肉を戻し入れ、しょうゆ、みりん、砂糖を加えて汁けが少なくなるまで煮る。





9日(金) お抹茶をいただく会
矢崎 房子様他

13日(火) 新舞踊・民謡
「秋葉すみれ会」堤イミ子様他

17日(土) フラダンスとウクレレ
メレ アロハの皆様

20日(火) レクダンス
「和の会」の皆様

21日(水) 紙芝居
「朗読四季」笠原悦子様他

24日(土) いっぺこと歌おいね
川崎 和幸様

とき

午後2時30分より
※お抹茶を頂く会は
午後3時15分より

ところ

ケアセンター「ゆうばえ」
デイサービスセンター
地域の皆さんのご来所をお待ちしています。
ご一緒に楽しみましょう。

職員募集

- ・介護職員
(勤務時間は相談可。)
 - ・看護師(日中のみ)
 - ・主任介護支援専門員
 - ・生活相談員
- お気軽にご一報ください。



(お問い合わせ)
TEL 264-5000
渡辺まで

NPO夕映えの会の
生活支援活動配食サービス

をご利用下さい!!

□生活支援活動

- ・どんなお手伝いでも1時間1,000円です。
- ・車を使ってのお手伝いのご相談もお受けいたします。
- *介護保険は適用されません。

詳しくは090-1431-7996
(小川)まで

□配食サービス

高齢者や障害をお持ちの方で
・食材の買い物等が困難な方
・食事作りが困難な方
・けが・病気等で一時的に食事作りが出来ない方
など、1食600円でボランティアによる配達と安否確認を行っております。

詳しくは090-1654-9821
(久住)まで

お知らせ 「デイサービスセンターゆうばえ」の
特殊浴槽が変わります！

開業以来使用してきたデイサービスの特殊浴槽ですが、10年を経過して入れ替えの時期となり、新しい特殊浴槽を購入しました。以前の浴槽とは入浴の向きが変わり、さらにジェット噴流でより快適な入浴が楽しめるようになります！



連絡先一覧

夕映えの会
お弁当配食については
★配食事業部へ
090-1654-9821



生活支援については
★生活支援部へ
090-1431-7996
お気軽にご連絡ください。

生活支援、配食、運転
ボランティア募集

社会福祉法人ゆうえい会
在宅ケアセンターゆうばえ
(代)025-264-5000

ゆうばえの里
ケアハウス 025-264-5715
ショートステイ 025-264-5730
ゆうばえの家 025-264-0808

★介護のご相談はケアプランへ
025-264-5701

編集後記

「線上下水帯」、聞きなれない言葉ですがテレビが映し出す映像はあの景色を思い出させました。家や車が流されていく様子は、思わしい津波のよう。泥水をかぶった田畑は収穫の見込みはなく、常総市の農業被害額は5億円を超えると言います。残念なことは決壊現場が氾濫要注意地点だったこと。一方国会では安保法制が国民の理解をへぬまま、参議院でも強行採決されました。「戦後のこの国形を根本的に変える」と法案成立後も多くの国民と識者が危惧しています。二つの事象に共通すること、それは主権者が自ら声を上げ続けることの大切さです。声を上げないと老後の暮らしもままならない時代、でも主権者が凛として立ち上がり始めた時代。編集子はそこに希望を見出します。(M記)